

【編集後記】

「創刊準備号」というのはどうにも奇妙な形態ではありますが、大学研究機関として「年度」という時間区分に縛られている関係もあって、まずは取り敢えずジャーナルの船出をと思案した結果、このようなかたちで発行させて頂くこととなりました。これを基礎に ICCS がこれまでの研究活動において培ってきたネットワークを駆使しつつ、さまざまな視角から中国学の現在を浮き彫りにしていくようなメディアの一端として、このジャーナルが育っていくことがかなえばと祈念しております。この「創刊準備号」では、2008 年末に開催された ICCS 国際シンポジウムの一端をご紹介します。その全体像については、あらためて詳細な報告集が準備されておりますので、そちらをご参照ください。また、本号では「公募論文」として若手研究者の三つの論文を掲載しております。このジャーナル企画の原型として ICCS ホームページ上において呼びかけた論文募集に応募のあった論文のうち、これらはいずれも ICCS 内外の専門研究者の厳しい査読を経て掲載に到ったものです。今後とも中国学に関わる若い世代の研究者がこのジャーナルを舞台に多く登場してくることを切望しています。「創刊号」は今秋発行を予定しています。おそらくは、これまでさまざまなかたちで ICCS が問題提起してきた諸問題の根本的な整理と再構築をめざしつつ、国際的な学術ネットワークにおける現代中国学の新たな様相を刻印するようなものとなることでしょう。ご期待ください。なお、本号のための原稿整理、レイアウト作成など編集作業ならびにホームページへのアップ等にご協力頂いた、秋山知宏、李佳、宇都宮浩一、篠田工治の各氏にこの場を借りて謝意を表します。(N)